

私たちは知っている  
冬の白はやがて来る懐かしい未来であることを  
土にしみていたのは  
雲の橋から降りた数多の白のひとひら  
その鮮烈なる厳しさは 子らを私たちを優しく寝床へ運ぶ  
吹き抜ける風を嗅ぎ 冬の白は目覚めの時を知る  
田を空に変え 土よ春に謳え  
めぐりくるものであることを 私たちは知っている

ふゆのしろ はるをゆめみて  
はるのしろ なつにこがれる  
めぐりくる なつかしいみらい  
しろつなぐ うつくしいみらいよ

私たちは知っている  
春の白はやがて恵みをもたらす未来であることを  
土の生きていることを知り  
子らはその生命の手触りに喜びの声を上げる  
か細くも凜とした緑よ  
子らはその姿に自らを重ねるのだろう

太陽をつかまえようと 春の白は緑の手を空へと伸ばす  
田にみどり映え 水よ土と笑え  
めぐりくるものであることを 私たちは知っている

はるのしろ なつにこがれ  
なつのしろ あきをまちわぶ  
つなぎゆく おもいでのみらい  
やがてくる うつくしいみらいよ

私たちは知っている  
夏の白は可憐な白が呼ぶ未来であることを  
田の神を空に送る  
さなぶりの時よ 人はその旅路とともに祝う  
しかし可憐な白たちは空を見上げ 白銀の雲に憧れを抱く  
田に白を降ろせ 空よ田に戻れ  
めぐりくるものであることを 私たちは知っている

ふゆのしろ はるをゆめみて  
はるのしろ なつにこがれる  
なつのしろ あきをまちわぶ  
あきのしろ こんじきにかがやく  
しきのしろ めぐみをもたらす  
ましろきみらい ほうじょうのときよ  
しろのちから しろのちから  
わたしたちのしろ うつくしいみらいよ



## TSUNEI

ツネイ

新潟県南魚沼市出身。大好きだった亡き祖父の名前「つねいち」がその名の由来。ハタチの時に12歳の自分から届いた「歌手になっていますか?」という手紙に後押しされ歌手活動を開始。全国各地でのライブを精力的に行うとともに、CMソングやテーマソングなどの楽曲制作を数多く手掛けている。近年では学生向けに、自身の体験をもとにした講演をライブとあわせて実施するなど活動は多岐に渡る。

## 南魚沼市とコシヒカリ

新潟県南部、魚沼盆地の中心に位置している南魚沼市は魚沼コシヒカリ発祥の地です。山々から湧き出る豊富な雪解け水と滋味豊かな土壌、さらに盆地特有の寒暖差などの恵まれた自然環境と、生産者の代々受け継がれてきた米作りの技とたゆまぬ努力により生産される南魚沼産コシヒカリ。

食味・色・つや・粘り、全てのバランスが良い高品質のお米です。先人たちの想いを受け継ぎ、これからも美味しいコシヒカリを生産し、南魚沼から全国へ発信していきます。

## 企画のコンセプト

南魚沼産コシヒカリの販売促進を始め、農業の素晴らしさ、従事する人々のカッコよさをPRすることにより、「職業として選ばれる農業の推進」「農業をキッカケとする南魚沼市への移住定住の促進」「観光業を始めとする市内各種産業の活性化」など、農業全体、南魚沼市全体への効果の広がりを目指します。

JA みなみ魚沼青年部を中心とした管内在住の若手農業者が自ら企画・演出・出演。楽曲制作・撮影・編集・デザインなども南魚沼市を拠点とする若手クリエイター陣が担当。南魚沼の次世代を担う人材がここに集結。まさにオール南魚沼によるプロモーション企画です。

集大成となる5作目は、南魚沼の四季の移ろいに併せて水稻栽培の準備から食卓に並ぶまでのプロセスを総括したショートムービーを制作。ポエトリリーディングで表現された地域・農業の持つ「ちから」、農業者の「想い」をぜひ感じてください。語り手は南魚沼市出身で、南魚沼市交流大使を務めるシンガーソングライター TSUNEI。農業者の想いを語り上げます。YouTube 上での公開、インパクトのあるポスター、パンフレットの制作により従来の南魚沼産コシヒカリの主な購買層とは異なるターゲット（都市圏に在住する若世代など）に向けた販売促進活動を行います。

このチラシに関するお問い合わせはこちらまで

## 南魚沼市役所 産業振興部 農林課

〒949-6696 新潟県南魚沼市六日町180番地1

TEL 025-773-6663 FAX 025-773-6710

<https://www.city.minamiuonuma.niigata.jp/>

総合プロデューサー 笠原真博(株式会社 MARUTAKA) 映像制作・撮影 星野隼人(Hype)

スチール撮影 ヒロスイ写真館 ポスターデザイン Output Design

音楽 DJ CO-MA 作詞 小玉 憲一 朗読 TSUNEI



南魚沼市への  
ふるさと納税はこちら